昭和48年11月17日第三種郵便物認可

6月15日
毎月1日、15日発行
第93号
価格50円
定期購読 半年分 800円 一年分1600円（干代共）
（郵送・半年900円一年1800円）

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

叛旗

共産主義者同盟

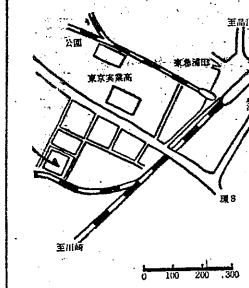
発行所／著・民社
編集人 神代真理 発行人 荒岐文人
東京都新宿区百人町1－11－31 斉藤ビル内（郵便番号160）
電話03(362)0149／振替
東京162856番（宛先共産同「叛旗」編集委員会）／関西著
民社 電話 06(312)8263

共産同政治集会
7・1 東京
大田区民センター大ホール／5時半
7・5 大阪
中之島公会堂8F／5時

共産同政治集会に結集せよ！

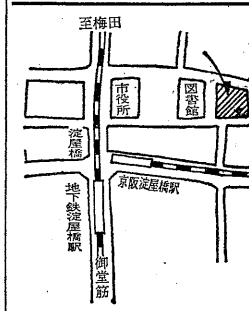
7・1東京

5時半開場
大田区民センター大ホール
（蒲田駅西口7分）



7・5大阪

5時開場
中之島公会堂3F
（京阪・地下鉄—淀屋橋駅2分）



権力闘争の血路に向って共通の指標を！

人間尊重を求めて孤立を恐れずへ
孤立を恐れずに連帯を形成へ
共産同政治集会に結集せよ！

人間尊重を求めて孤立を恐れずへ、孤立を恐れずに連帯を形成へ、引き寄せられず、よりよく闘う、闘いが敗北的に進撃が惨々たる信況にあることは疑らない。この惨々たる情況はまりをもとうに追いつめられてゆく内外ノ的矛盾といってよいし、選挙の狂騒劇からこれらの淡い現実認識からそれらの人間的な矛盾を乗り越えるような、個人の分裂・共闘・分裂として現象する民医協党の動きといってもよい。もちろん、私たちにとってこれらはある意味で無関係なものであり、医協党の動向や幻想にはもちろん関係ないものであるからこれらは単なる現象と言えばそれまでであるが、けれども、人言葉へ、人行動へが根拠の選挙へと進化しゆく危機の現実に対しては簡単な言葉でやり過ごすことができない。

私たちの一つの考えとする問題に対する闘いの姿勢と直接の選挙は、まず何よりもそれ自体の敗北から始まるというものであった。幸いに幸い時代は対し医協党の構造的なあり方、自身に、また組織にたどれば、それは根拠なしにそのことを指摘してきた。

ここで、これらの闘いの一つとして設定されている7・1、7・5、東京、関西での政治集会の構想と結集への呼びかけを求めてしたい。

闘争課題や闘争主題、また闘争の諸形態は支配階級の側から投げかけられる課題にスケジュール的に対応するだけで、内的現化も、それ自体の創出からその放棄に、内的必然性に転化する機会も持つことができないというけけたとき、彼は敗北的に存在しているというこれまでの

政治運動の自立的径路とは何か

―関西的〈牧歌〉の終焉を対象的課題に登場させる為に―

共産同関西地方委員会

はじめに

全国の、そして関西の同志・友人諸君！

昨年の春闘の高揚を経て、そして、「戦後政治の総括」の問題が、そして、「戦後政治の総括」の問題が、現在、日本社会の根底揺動は、現在、行動が成熟する為には、手段的目的の統一、現実的課題の明確化、そして大衆の現実的要求の前で大衆運動の自己変革が、問われている。

1975年の日・米・韓・タイ・フィリピンの反戦・反政治・反ファシズム闘争、そして、「戦後政治の総括」の問題が、「戦後政治の総括」という二つの課題が、

…（中略）…

…ものが、緊急されると、そして、…ものが、緊急されると、…ものが、緊急されると、…ものが、緊急されると